

文部科学大臣旗争奪

## 2019年度 第40回 全国高等学校ゴルフ選手権団体の部中部地区予選 兼 第42回 中部高等学校ゴルフ対抗戦

開催日：2019年6月14日(金)・15日(土)

開催コース：ゴルフクラブ ツインフィールズ ダイヤモンドコース



この大会はR&A・USGA発行のゴルフ規則(2019年1月施行)及び日本高等学校ゴルフ連盟競技規則と、この競技のローカルルールを適用する。

これらの追加・変更については各競技に適用される競技規定やプレーヤーへの注意事項を確認のこと。

別途規定されている場合、または適用規定が明示されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は一般の罰(2罰打)

### ローカルルール

#### 1. アウトオブバウンズ(ゴルフ規則 18)

- (a) アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- (b) 各ホールにおいて、アウトオブバウンズの白杭を越えて他のホールに止まった球は相互にアウトオブバウンズとする。

#### 2. レッドペナルティーエリア(ゴルフ規則 17)

レッドペナルティーエリアの境界は赤杭と赤線をもって標示する。杭と線が併用されている場合は、線がその境界を標示する。

#### 3. 異常なコースの状態(ゴルフ規則 16)

- (a) 青杭を立て白線によって定められる区域はプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則 16.1f に基づき、そのプレー禁止区域による障害がある場合、罰なしの救済を受けなければならない。
- (b) 修理地は白線をもってその境界を標示する。
- (c) プレーヤーの球が張り芝の継ぎ目の中にあるか、触れている場合、あるいは継ぎ目がプレーヤーの意図するスイング区域の障害となっている場合
  - (I) ジェネラルエリアの球：そのプレーヤーは規則 16.1b に基づいて救済を受けることができる。
  - (II) パッティンググリーン上の球：そのプレーヤーは規則 16.1d に基づいて救済をうけることができる。しかし、その継ぎ目がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。救済を受けるときは、張り芝の区域の中のすべての継ぎ目として扱われる。そのことは、球をドロップした後どの継ぎ目であってもプレーヤーの障害となる場合、たとえその球が基点から1クラブレンジ以内である場合でも、そのプレーヤーは規則 14.3c(2)に基づいて要求されるように処置しなければならないことを意味している。ジェネラルエリアの張り芝の継ぎ目(その芝自体を除く)は修理地としてみなされる。しかしながら、継ぎ目がプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は障害とはみなされない。球がその継ぎ目の中にあるか、触れている場合、またはその継ぎ目が意図するスイング区域の障害となる場合、規則 16.1b に基づいて救済を受けることができる。張り芝の区域内のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目とみなされる。
- (d) コース内にある排水路はジェネラルエリアの動かせない障害物として扱われ、ペナルティーエリアではない。
- (e) 人工の素材で作られ、カート道路に沿って設置されている排水路はジェネラルエリアの動かせない障害物として扱われ、そのカート道路の一部である。プレーヤーは規則 16.1b に基づいて罰なしに救済を受けることができる。
- (f) 動かせない障害物に接している他の動かせない障害物は一体の障害物とみなす。
- (g) 動かせない障害物に白線で繋がれた区域はその障害物の一部とみなす。
- (h) 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は、全幅をもって道路とみなす。なお球がこのカート道路の上にある場合は、競技者は規則 16-1 の救済を受けなければならない。
- (i) コース内の防球ネットが動かせない障害物となる場合、その障害物の上を越えたり、中や下を通さずにニヤレストポイントを決めなければならない。このローカルルールの違反の罰は2打。
- (j) 樹木保護のための巻物施設(まき網など)はコースと不可分の部分とする。

#### 4. クラブと球の規格

- (a) 使用クラブ及び溝とパンチマークの規格  
プレーヤーがストロークを行うために使うドライバーはR&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。  
このリストは定期的に更新され、RandA.org で閲覧できる。  
例外—1999年より前のドライバーヘッド：1999年より前に製造されたクラブヘッドを持つドライバーはこのローカルルールから免除される。  
このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

適合ドライバーヘッドリストに掲載されていないドライバーを持ち運んだが、そのドライバーでストロークを行っていないことについて、このローカルルールに基づく罰はない。

ストロークを行うとき、プレーヤーは 2010 年 1 月 1 日に施行された用具規則の溝とパンチマークの仕様に適合するクラブを使わなければならない。現行のゴルフ規則への適合性がテストされたフェアウェイウッド、ハイブリッド、アイアン、ウェッジの用具データベースは RandA.org で閲覧できる。

このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

こうした溝とパンチマークの仕様に適合しないクラブを持ち運んだが、そのドライバーでストロークを行っていないことについて、このローカルルールに基づく罰はない。

(b) 使用球の規格

ストロークを行うときに使用する球は R & A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。このリストは定期的に更新され、RandA.org で閲覧できる。

このローカルルールに違反して最新のリストに掲載されていない球でストロークを行ったことに対する罰：失格

## 5. 険悪な気象状況によるプレーの中断 (ゴルフ規則 5, 7)

危険な状況のためにプレーの中断、または通常の間断はサイレンによって伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開はサイレンによって伝えられる。

即時中断 ; 1 回の長いサイレン

通常の間断 ; 3 回の短いサイレン

プレーの再開 ; 2 回の短いサイレン

## 6. ホールとホール間の練習

規則 5. 5 b は次のように修正される ; 2 つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行うこと。
- ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面を擦ったり、球を転がすことでパッティンググリーン面をテストしたりすること。

## 7. スコアカードの提出 (ゴルフ規則 3. 3 b)

スコアリングエリア方式を採用する。

## 8. 競技終了時点

本競技は競技委員長の成績発表をもって終了する。

## 9. 競技の成立

本競技の参加者全員が正規のラウンドをホールアウトできなかった場合、委員会は競技成立について別途協議するものとする。

## 10. 委員会の裁定

委員会はローカルルールを修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

## 注意事項

1. ローカルルールに追加、変更があるときは、スターティングホールのティーイングエリア付近に掲示して告示する。
2. 正規のラウンド中、プレーヤーはキャディーの使用を禁止する。
3. プレー中は、JGA 発行のルールブック (2019 年版)、ローカルルール、グリーンフォーク、目土袋、スコップを常に携帯すること。なお、必ず学校名・名前を明記しておくこと。
4. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
5. 正規のラウンドにおいて、各自が準備する自動機能を有さない手引きカートを使用することができる。
6. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意すること。プレーを不当に遅らせた場合は、ペナルティを科す。
7. 練習は指定練習場にて行い、打球練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 人 1 コイン (30 球) を限度とする。打席は指定された打席を利用すること。保護者の練習場への立入りは、事故・危険防止のため禁止とする。ラウンド終了後の打球練習場および練習グリーンの使用はできない。
8. アプローチ練習、バンカー練習場の使用は禁止とする。
9. ゴールドコースの練習グリーン、アプローチ、バンカーの使用はできない。
10. 使用ティーは、男子は金色、女子は青色とする。
11. 服装は日本高等学校ゴルフ連盟が定めるユニフォーム規定を遵守すること。ハーフパンツ・スカートを着用する場合は、くるぶしが隠れるソックスを着用すること。
12. コース内では緊急時以外の携帯電話の使用を禁止する。(公式指定ラウンドも同様)  
緊急連絡先：ゴルフクラブツインフィールズ TEL : (0761)47-4411 (代)
13. 競技委員・選手以外は 1 番・10 番ホールのティーイングエリア付近及び 9 番・18 番ホールのグリーン付近以外は立入禁止とする。
14. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。